

耳鼻咽喉科

高山赤十字病院 耳鼻咽喉科後期研修プログラム

(1) 研修期間：5～6年

シニアレジデント 3年（専門医取得準備期間）

チーフレジデント 2～3年（専門医取得期間）

(2) 後期臨床研修の目的

(ア) 耳鼻咽喉科医として一般的な診療能力を身につける

(イ) 地域の基幹病院の耳鼻科医として必要な経験を積む。

(3) 到達目標

(ア) 日本耳鼻咽喉科学会認定の耳鼻咽喉科専門医を取得する

(イ) 耳鼻科のプライマリケアの習得

(ウ) 耳鼻科の基本的な手術手技を獲得し経験をつむ

(4) 研修プログラム

当院耳鼻科は岐阜県北部全域で唯一の常勤耳鼻科であり、日本耳鼻咽喉科学会が基準に基づいて認可した耳鼻咽喉科専門医研修施設である。専門医取得に必要な研修期間を最短で終了することが可能である。最短で4年（卒後6年）で専門医取得の資格が得られる。

症例は非常に豊富であり、耳鼻科領域のすべての疾患に関わることができる。基本的にすべての外来診療、病棟管理、手術にかかわる。

チーフレジデント以降において、耳鼻科領域のなかでスペシャリティを希望する場合は、科内で調整のうえ、重点的に研修することが許される。

(1) 耳科

(2) 鼻科

(3) 神経耳科

=====

日本耳鼻咽喉科学会認定の耳鼻咽喉科専門医の資格について

○ 専門性に関する資格の取得条件

1) 日本国の医師免許を有する者。

2) 連続して3年以上、日本耳鼻咽喉科学会の正会員である者。

3) 日本耳鼻咽喉科学会が基準に基づいて認可した耳鼻咽喉科専門医研修施設において、研修カリキュラムに従い臨床研修終了後4年以上の専門領域研修(そのうち3年以上は耳鼻咽喉科専門医研修施設における研修でなければならない。)を修了した者。

○ 適正な試験の実施

専門医認定試験実施要項に基づき以下の審査を行う。

1) 本学会へ提出された専門医認定申請書、履歴書、医師免許証(写)、認可研修施設における研修修了証明書、臨床記録および研究業績リストに基づき専門医制度委員会において受験資格の有無を審査する。

2) 前項の資格審査に合格した者に対して、試験委員会は2日間にわたる筆記試験、小論文、口頭試問の出題と採点を行う。